

# 平成28年度第2回置賜地域保健医療協議会

日時：平成29年3月10日（金）18：30～

場所：山形県置賜保健所 講堂

## 次 第

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 報 告

- (1) 病床機能調整ワーキングにおける検討状況について 【資料1】
- (2) 在宅医療専門部会における検討状況について 【資料2】
- (3) 病床機能の分化・連携に対する支援について 【資料3】
- (4) 在宅医療の拡充に対する支援について 【資料4】

### 4 協 議

- (1) 第6次山形県保健医療計画の推進
  - 「地域編 置賜二次保健医療圏」に係る進捗状況について 【資料5】
- (2) 疾病・事業ごとの医療連携体制を構築する病院について 【資料6】
- (3) 置賜地域医療構想調整会議等スケジュール 【資料7】
- (4) その他

### 5 その他

### 6 閉 会

## 【配付資料】

- 資料 1－① 平成 28 年度置賜地域保健医療協議会病床機能調整ワーキング次第・出席者名簿
- 資料 1－② 平成 28 年度置賜地域保健医療協議会病床機能調整ワーキングの概要
- 資料 2－① 平成 28 年度置賜地域保健医療協議会在宅医療専門部会次第・出席者名簿
- 資料 2－② 在宅医療提供体制の 4 機能ごとの主な現状・課題【置賜地域】
- 資料 2－③ 平成 28 年度置賜地域保健医療協議会在宅医療専門部会の概要
- 資料 3 病床機能分化連携推進事業費
- 資料 4 平成 29 年度在宅医療推進事業（新規事業）
- 資料 5 第 6 次山形県保健医療計画「地域編 置賜二次保健医療圏」に係る進捗状況
- 資料 6 第 6 次山形県保健医療計画に掲載している「医療連携体制を構築する病院の表」
- 資料 7－① 置賜地域医療構想調整会議等スケジュール（予定）
- 資料 7－② 医療・介護提供体制の見直しに係る今後のスケジュール
- 参考資料 1 平成 28 年度第 1 回置賜地域保健医療協議会 議事概要
- 参考資料 2 管内自治体の死亡の状況について

## 平成28年度置賜地域保健医療協議会病床機能調整ワーキング

日時：平成29年3月2日（木）18：30～  
場所：山形県置賜保健所 講堂

## 次 第

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 報 告

(1) 地域医療構想の実現に向けて

【資料1、2】

(2) 医療提供体制の現状と将来目指すべき姿について

【資料3、4】

(3) 病床機能分化連携推進事業について

【資料5】

## 4 協 議

(1) 公立置賜南陽病院改築計画について

【資料6、7】

・置賜広域病院組合 医療機能のあり方について（案）

・公立置賜南陽病院改築に係る総務省提出資料に関する検討事項

(2) 置賜地域における各病院の医療提供体制の見直し等に係る検討状況

(3) 「病床機能調整ワーキング」の今後の進め方について

【資料8】

(4) その他

## 5 その他

## 6 閉 会

平成28年度置賜地域保健医療協議会病床機能調整ワーキング 出席者名簿

(敬称略)

	所 属	氏 名	備 考
1	公立置賜総合病院長	洪 間 久	代理 事務局長 嶋貫 栄次
2	米沢市立病院長	渡 邊 孝 男	
3	三友堂病院長	仁 科 盛 之	
4	舟山病院長	鬼 満 圭 一	代理 事務長 菊地 孝助
5	国立病院機構米沢病院長	飛 田 宗 重	
6	三友堂リハビリテーションセンター病院長	穂 坂 雅 之	
7	公立置賜長井病院長	齋 藤 秀 樹	代理 事務長 遠藤 吉雄
8	公立置賜南陽病院長	原 田 正 夫	代理 事務長 星 弘文
9	公立高畠病院長	泉 谷 健	
10	小国町立病院長	阿 部 吉 弘	
11	白鷹町立病院長	高 橋 一 二 三	
12	川西湖山病院長	乾 清 重	
13	吉川記念病院長	吉 川 順	
14	佐藤病院長	沼 田 由 紀 夫	
15	山形県置賜保健所長	山 田 敬 子	

(オブザーバー)

	所 属	氏 名	備 考
1	米沢市医師会長	小 林 正 義	欠席
2	長井市西置賜郡医師会長	桑 島 一 郎	欠席
3	南陽市東置賜郡医師会長	粕 川 俊 彦	

事務局

山形県置賜総合支庁			
置賜総合支庁保健福祉環境部長 加藤 秀一			
保健企画課長	佐藤 仁	保健企画課企画専門員	近野 睦子
地域保健予防課長	鈴木 雅人	保健企画課医薬事専門員	安部 浩美
保健企画課課長補佐(健康企画担当)	加藤 嘉明	保健企画課主任主事	若松 裕也
山形県健康福祉部			
地域医療対策課医務企画専門員	黒田 英昭	地域医療対策課医務企画主査	今田 禎幸

## 平成 28 年度置賜地域保健医療協議会病床機能調整ワーキングの概要

### 病床機能調整ワーキングでの意見（まとめ）

#### （報告）医療提供体制の現状と将来目指すべき姿について

- ・ 急性期病床を回復期病床に転換するよりも、まだ利用できる既存の病床稼働率の低い病院の病床を有効に活用していった方がよい。
- ・ 病床機能報告の内容と実態の乖離についても検討すべきである。

#### （報告）病床機能分化連携推進事業について

- ・ 補助事業の要望調査の照会方法について、工夫が必要である。

#### （協議）公立置賜南陽病院改築計画について

- ・ 公立置賜南陽病院は、地域の在宅医療の拠点になる必要があるが、計画上置賜広域病院組合のサテライト病院としての役割の記載が中心になっており、在宅医療圏の中でどのような役割を果たしていくべきかという議論をこれからも重ねて、整理していく必要がある。今後については、保健所が主体となって、公立置賜南陽病院を軸にした地域の在宅医療の推進等に向けた会議を、新年度早々にも開催していくことが了承された。
- ・ 急性期を中心とした総合病院の機能を縮小し、より回復期、慢性期に移行していかなければならない。

#### （協議）置賜地域における各病院の医療提供体制の見直し等に係る検討状況について

##### ○各病院の検討状況報告等

- ・ 米沢市立病院・三友堂病院については、医療連携あり方検討委員会を立ち上げ、関係者による協議を開始したところ。地域医療連携推進法人の設立や、両病院の再編統合による急性期部門を中心とした地方独立行政法人による病院の建替えについて、向こう 1 年を目途に検討していく。
- ・ 舟山病院については、耐震化の問題もあり、一般病床を 14 床削減しながら、西病棟の改築工事を行っている。平成 29 年 4 月にずれ込む可能性もあるが、3 月いっぱい完成予定である。
- ・ 米沢こころの病院については、平成 29 年 6 月に療養病床 60 床を開院させ、7 月に残りの部分である急性期 48 床をオープンさせる。佐藤病院の方は、それに伴い病床を 54 床減らす、その分は平成 30 年度に既存の老人保健施設を増床する形で転換し、活用する。
- ・ 国立病院機構米沢病院については、現在基本設計の策定が始まったばかりだが、慢性期の病床 60 床分を建替え、40 床分を改築する予定である。重症心身障がい病棟 120 床の患者については、置賜の患者が 40 人弱で、置賜以外の県内、福島、東京等からの患者が多数を占めている現状がある。

##### ○事務局から

- ・ 病床機能調整ワーキングについては、基本的に管内全病院による協議の場とし、精神病床に係る病床機能調整等、必ずしも全病院による協議を要しないと考えられる場合は、必要に応じた範囲の病院による協議を行うこととしたい。

平成 28 年度置賜地域保健医療協議会  
在宅医療専門部会

日時：平成 29 年 2 月 28 日（火）18:30～20:00

場所：置賜保健所 2 階 講堂

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 報 告

(1) 地域医療構想の実現に向けて 【資料 1, 2】

(2) 地域包括ケアシステムの構築と在宅医療提供体制の整備について  
【資料 3, 4】

(3) 地域医療構想の在宅医療の拡充に係る課題とこれまでの取組みについて  
【資料 5】

4 議 事

(1) 置賜地域における在宅医療の拡充に係る取組みについて

① 市町における在宅医療・介護連携推進事業の実施状況について 【資料 6】

② 置賜地域における在宅医療提供体制の現状と平成 29 年度の取組みについて  
【資料 7】

(2) その他 【資料 8】

5 そ の 他

6 閉 会

平成28年度置賜地域保健医療協議会在宅医療専門部会 出席者名簿

(敬称略)

	所 属	氏 名	備 考
1	米沢市医師会	横山 英一	
2	長井市西置賜郡医師会	外田 博貴	
3	南陽市東置賜郡医師会	安日 新	
4	米沢市歯科医師会	鈴木 基	
5	長井地区歯科医師会	寺嶋 誠	
6	南陽市東置賜郡歯科医師会	八木 孝	代理 伊藤 敦信
7	米沢市薬剤師会	今村 恒	
8	長井西置賜地区薬剤師会	伊藤 雄介	
9	南陽東置賜薬剤師会	島崎 尚弧	
10	県看護協会置賜支部	高橋 淳子	
11	県栄養士会米沢地域事業部	須田 千景	
12	県介護支援専門員協会置賜支部	勝見 恵子	
13	県老人福祉施設協議会置賜支部(花の里)	齋藤 龍真	
14	置賜地区老人保健施設連絡協議会(白鷹あゆみの園)	手島 貴史	
15	訪問看護ステーション連絡協議会置賜支部	菊地 誠	
16	舟山病院(在宅療養支援病院)	伊藤 美緒子	
17	公立高畠病院(在宅療養支援病院)	寒河江 純子	
18	公立置賜長井病院(在宅療養支援病院)	小熊 香代子	代理 藤川 勝子
19	米沢市高齢福祉課	神保 朋之	
20	南陽市福祉課	菊地 清	
21	高畠町福祉課	佐藤 健	
22	川西町健康福祉課	淀野 芳広	
23	長井市健康課	伊藤 亮一	
24	小国町健康福祉課	原田 千鶴子	
25	白鷹町健康福祉課	齋藤 春美	
26	飯豊町健康福祉課	古川 正次郎	
27	置賜保健所(部会長)	山田 敬子	

事務局

山形県置賜総合支庁			
福祉課長	嶋貫 修	保健企画課企画専門員	近野 睦子
保健企画課長	佐藤 仁	保健企画課健康増進主査	安部 菜緒里
地域保健予防課長補佐	山田 晴美	保健企画課主任主事	若松 裕也
保健企画課課長補佐(健康企画担当)	加藤 嘉明		
山形県健康福祉部			
地域医療対策課医務企画専門員	黒田 英昭	地域医療対策課在宅医療推進主査	高橋 亮
健康長寿推進課地域包括ケア推進主査	石井 克明		

## 平成 28 年度置賜地域保健医療協議会在宅医療専門部会の概要

### 在宅医療専門部会での意見（まとめ）

#### 市町における在宅医療・介護連携拠点について

- 高畠町と西置賜地域（長井市、小国町、白鷹町、飯豊町）が設置済み。未設置の米沢市は平成 29 年 4 月に設置予定。南陽市、川西町についても平成 29 年度の設置に向けて準備を進めている。
- ・ 高畠町は町直営で、平成 28 年 7 月に町内の社会福祉法人のデイサービスの空き施設に設置。連携推進員と事務職の 2 名体制で、在宅連携の構築に向けて取り組んでいる。平成 29 年度から組織改変があり、拠点機能を健康管理施設「げんき館」に移動する。
- ・ 西置賜地域は、長井市西置賜郡医師会により長井病院の中に拠点が設置された。現在は推進員が 1 名であるが、来年度からは、西置賜地域の 1 市 3 町から長井市西置賜郡医師会への委託という形での事業実施が予定されており、事務員を含めた 2 名体制で本格的に運用予定である。

#### 在宅医療提供体制の現状

##### ○看取りについて

- ・ 在宅医療の課題である看取りの当番制は、どこから手を付けていいのかわからない状況ではないか。診療所医師（主治医）が急変時の対応が出来ない時に、看取りだけでも他の医師と連携してやればよいが、どこもやれていない。
- ・ 長井病院では、診療所医師の看取りをバックアップする形を目指している。在宅での看取りを最期まで診療所医師が出来ればよいが、急変時にそれが出来ない場合、長井病院に入院し看取りまで行う。具体的にはまだであるが、副主治医が長井病院になるようなイメージである。
- ・ バックベッドも必要だが、在宅での看取りを満足できるものにしなければならない。他の病院等医師から主治医に変わって駆けつけてもらうことができれば良いが、実際は難しい。訪問看護ステーションももっと規模が大きくなれば、待機制等がとれるのではないかな。
- ・ 来年度、国では、在宅での看取りにおける死亡診断に必要な情報を医師に報告する看護師を対象にした法医学等に関する研修事業の実施を予定している。将来的には、訪問看護師による看取りが実現する可能性がある。

##### ○各団体の取組み

- ・ 歯科医師会としては、施設との連携や啓蒙が重要であると考えている（米沢市歯科医師会）。また、訪問歯科診療についての実態調査を始めている（南陽市東置賜郡歯科医師会）。
- ・ 薬剤師会では、在宅医療や在宅における薬剤師の役割等について、勉強会や研修会を開催している。

##### ○事務局から

平成 29 年度は、専門部会を在宅医療圏毎に各 2 回、全体会を 1 回程度開催したい。各医師会の在宅医療推進協議会等、関係者が集まる場があるため、開催方法については、別途相談させていただきたい。



## 病床機能分化連携推進事業費

H29 当初：393,142千円（基金10/10）

### 1 地域医療構想の推進（病床機能の分化連携）

課題	ア) 急性期病床が過剰、回復期病床が不足	⇒急性期病床から回復期病床への転換（約2,700床の転換）
	イ) 非稼働病床や稼働率が低い病床	⇒病床規模の適正化（約▲1,200床）
	ウ) 在宅療養が可能な患者の入院	⇒在宅医療等への移行（約▲1,200床） ※在宅医療等の受け皿の実態を考慮

#### 地域医療構想の実現に向けた調整方針

2025年に向け、各医療機関が“自主的に”病床機能の分化・連携を進めていく。ただし、各病院が改築や大規模改修等を行う際、その具体的計画について、地域医療構想調整会議や病床機能調整ワーキングにおいて地域の関係者の合意を得たうえで進めていくことになる。なお、地域医療構想の実現の課題に対応した整備事業について、医療介護総合確保基金を活用した財政支援を行っていく。

### 2 医療介護総合確保基金を活用した支援制度

#### (1) 施設整備補助金（376,015千円） 山形済生病院、北村山公立病院

##### ア) 急性期病床から回復期病床に病床転換

（新增改築：4,640千円、改修：3,406千円）×整備する回復期病床数×1/2

##### イ) 回復期機能の充実に伴う急性期病床の適正化【拡充】

（新增改築：4,640千円、改修：3,406千円）×急性期病床等の適正化数×1/2

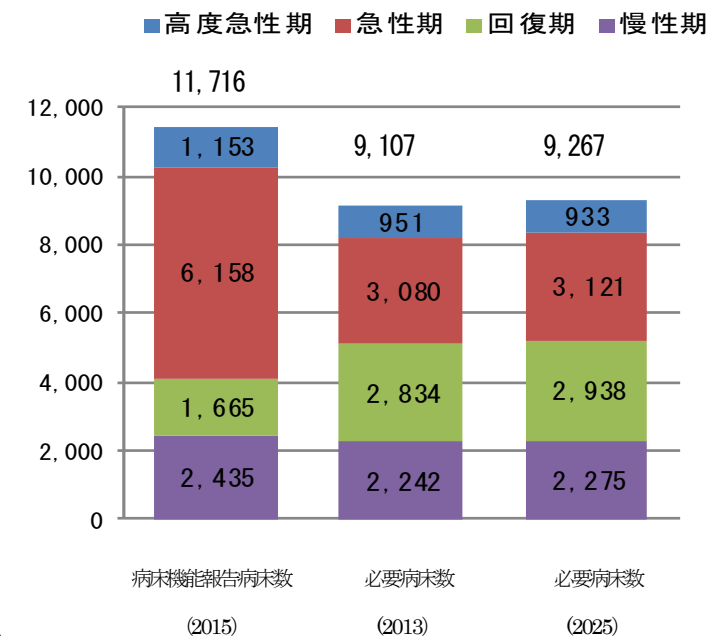
#### (2) 設備整備補助金【新規】(16,200千円) 山研済生病院、北村山公立病院、山形市立病院済生館

(1)の主旨に沿ったリハビリの充実に係る医療機器等の設備整備：10,500千円×1/2

#### (3) 病床機能調整WG【新規】(927千円)

病床機能調整部会（全県的）、病床機能調整ワーキング（地域課題）の開催

【地域医療構想：病床の必要量（単位：床）】



## 病床機能分化連携推進事業費（施設整備補助金）について

### 1 概 要

地域医療構想の実現に向けた病床機能の分化・連携のため、病院内や地域医療連携推進法人を含む同一法人の病院間において、急性期病床から回復期病床（回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟）への病床転換、急性期病床を適正化し回復期機能を充実する施設整備費を支援（医療介護総合確保基金）。

※病床機能調整ワーキングでの協議や地域医療構想調整会議での合意を踏まえた施設整備を支援していく。

### 2 補助内容

(1) 補助基準額 以下に定める額の合計額と対象経費の実支出額とを比較して少ない方を選択 ※近代化事業の国庫補助単価

区分	補助内容	補助上限額
ア 急性期病床から回復期病床（回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟）に病床転換	新築又は増改築 改修	4, 640千円×整備する回復期病床数 3, 406千円×整備する回復期病床数  ※転換する病床、1㎡あたり36万円を限度。
イ 回復期機能の充実に伴う急性期病床の適正化 【拡 充】	新築又は増改築 改修  ※病棟整備をしない場合、外来部門（機能訓練室等）の整備を対象	4, 640千円×急性期病床の適正化数 3, 406千円×急性期病床の適正化数  ※1㎡あたり36万円を限度。整備する事業費を上限。

(2) 補助対象経費 新築・増改築・改修に要する工事費又は工事請負費（病室、診察室、処置室、記録室、談話室、機能訓練室、浴室、廊下、便所等）

(3) 補助率 1/2

### 3 平成29年度の予算額 376, 015千円

①北村山公立病院（東根市）【新規】 ア：3,406千円×45床×1/2＝76,635千円（調整中）

イ：3,406千円×60床×1/2＝102,180千円 計178,815千円

※平成30年4月運用開始を目途に、急性期病床を60床廃止（適正化）、リハビリ棟を改修。また、急性期病棟45床について地域包括ケア病棟に転換、併せて外来棟を改修（調整中）。

②山形済生病院（山形市）【継続】 ア：4,640千円×100床×1/2×85%（年度内進捗率）＝197,200千円（H28：34,050千円）

※平成30年4月運用開始を目途に、回復期リハ病棟50床、地域包括ケア病棟50床を増築整備（急性期病床100床からの転換）。

# 病床機能分化連携推進事業費（設備整備補助金）について

## 1 概 要

地域医療構想の実現に向けた病床機能の分化・連携のため、病院内や地域医療連携推進法人を含む同一法人の病院間において、急性期病床から回復期病床（回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟）への病床転換、急性期病床を適正化し回復期機能を充実するための医学的リハビリテーションに必要な医療機器等の設備整備費を支援（医療介護総合確保基金）。

※病床機能調整ワーキングでの協議や地域医療構想調整会議での合意を踏まえた設備整備を支援していく。

## 2 補 助 内 容

### (1) 補助基準額

以下に定める額と対象経費の実支出額とを比較して少ない方を選択

1施設につき、10,500千円 ※医学的リハ事業の国庫補助単価

### (2) 補助対象経費

病床機能の分化・連携に連動した、脳卒中、骨折など高齢者に多い疾患や在宅復帰に向けたリハビリに必要な医療機器等の備品購入費

### (3) 補 助 率 1/2

## 3 平成29年度の予算額 15,750千円※

【新規】北村山公立病院（東根市） $10,500千円 \times 1/2 = 5,250千円$

リハビリ棟改修に伴い必要となるリハビリ機器の整備：10,500千円

（内訳）運動浴用升降機、電動昇降式ADLキッチン、歩行用訓練階段 等

【新規】山形済生病院（山形市） $10,500千円 \times 1/2 = 5,250千円$

地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟整備に伴い必要となる特殊浴槽の整備：10,500千円

（内訳）仰臥位入浴用介護浴槽、座位入浴用介護浴槽 等

【新規】山形市立病院済生館（山形市） $10,500千円 \times 1/2 = 5,250千円$

脳卒中センター・リハビリテーション分室への急性期リハビリテーションの充実に必要となる機器の整備：10,500千円

（内訳）磁気刺激装置、電気刺激装置、靴式下肢荷重計 等

※厚生労働省医政局通知（H29.1.27）に基づく標準単価に見直し（10,800千円→10,500千円）のため、予算額と一致していない。

平成29年度在宅医療推進事業  
(新規事業)

## ◎在宅医療提供体制確保事業

## ＜概要＞

- ・在宅医療に取り組む医療機関において必要となる設備（医療機材※）整備に要する経費への助成。
- ※ポータブル超音波診断装置・血液分析装置等
- ・1医療機関あたり補助金上限額500千円  
(1,000千円×補助率1/2、10医療機関)
- ・補助金総額  
5,000千円

## ◎村山地域における在宅医療提供体制強化モデル事業

## ＜概要＞

- ・在宅医療等需要の大きな増加が見込まれている山形市において山形市医師会が行う在宅医療の推進に向けた取組み（※）に対する補助事業。
- ※調査・検討、医師の在宅医療に対する理解を深める取組み（研修会、在宅医療を始める医師向けガイドブック作成（県内に配布））
- ・補助金総額  
2,300千円

第6山形県保健医療計画  
「地域編 置賜二次保健医療圏」に係る進捗状況

資料5

I 医療提供体制 【評価目標】

項 目	現 状	目 標 (上段)				
		実 績 (下段)				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
救急告示病院の時間外の初期救急患者数	34,383人 (平成23年度)	34,000	33,500	33,000	32,500	32,000
		32,984 (平成24年度)	31,189 (平成25年度)	28,516 (平成26年度)	28,844 (平成27年度)	
人口10万人あたりの医師数	170.5人 (平成22年度)		180	—	190	—
		176.4 (平成24年度)	—	175.0 (平成26年度)	—	
人口10万人あたりの看護師(准看護師含)数	993.4人 (平成22年度)		1,050	—	1,100	—
		1047.5 (平成24年度)	—	1086.2 (平成26年度)	—	
OKI-netにおける医療情報連携施設数	62 (平成24年度)	77	92	107	122	135
		77 (平成26年1月)	82 (平成27年1月)	87 (平成28年1月)	94 (平成29年1月)	

出典 [27年度 置賜地域救急医療対策協議会調べ]

[26年度 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」 調査周期：2年]

[26年度 厚生労働省「衛生行政報告例」 調査周期：2年]

[置賜地域医療情報ネットワーク協議会調べ]

I 医療提供体制【主要な取組み】

(1) 医療提供体制の整備

番号	項 目	H28年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
1	○各医療機関の機能の分担と連携の推進、地域連携パスの運用拡大と医療機関の連携構築の支援	◇各種講演会・研修会等に随時「地域医療連携」啓発のパンフレット配布  <地域連携パスの運用状況> 大腿骨頸部骨折 26年度 234件 27年度 324件 脳卒中 26年度 293件 27年度 255件 がん 26年度 22件 27年度 26件	●病・病連携の推進 ●病・診の連携の構築 ●地域医療連携への住民啓発促進	□パンフレットを活用した住民啓発

## (2) 救急医療体制

番号	項目	H28 年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
2	○「かかりつけ医」の普及と適切な救急医療機関の受診の啓発	◇置賜地区救急医療対策協議会において啓発用チラシ23,000枚作成。市町を通して配布 ◇AED講習会 開催時にチラシ配布 (年間10回) ◇小児救急医療講習会の開催(年間9回) 開催時にチラシ配布	●さらなる啓発	<input type="checkbox"/> 講習会の継続 <input type="checkbox"/> チラシ作成
3	○精神科救急の機能、連携についての情報交換、情報提供。住民への啓発	◇置賜地域精神保健福祉連絡会議の開催 12月16日 南陽市中央公民館 出席者 39名 『精神障がい者身体合併症搬送への対応』について 意見交換、搬送基準の確認	●関係機関の連携強化	<input type="checkbox"/> 置賜地域精神保健福祉連絡会議の開催

## (3) 医師・看護師不足の解消

番号	項目	H28 年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
4	○医学生や看護学生にホームページを活用した情報提供の推進	◇中学生を対象とした「看護師の仕事を学ぶ学習会」 や管内で働く看護師のインタビュー記事掲載	●コンテンツの充実	<input type="checkbox"/> 掲載の継続、更新
5	○研修指定病院と他の医療機関の連携による研修医確保対策の支援	◇臨床研修医・地域医療研修の受入れ なし ◇地域医療実習の受入れ 8月18日～19日 4名 ◇医学生 地域保健(保健所)実習生の受入れ 8月18日～19日 1名 新潟大学	●効果の上がる事業の検討	<input type="checkbox"/> 臨床研修医・地域保健医療研修を受入れ

6	<p>○ 中高生向け看護師体験セミナー等の開催</p>	<p>◇ 高校生を対象とした医師・看護師体験セミナー 7月16日 山形大学医学部 管内から医師向け8名 看護師向け13名参加</p> <p>◇ 高校生を対象とした看護師体験セミナー 8月10日 県立保健医療大学 管内から 看護師希望者22名参加</p> <p>◇ 看護師の仕事を学ぶ学習会 8月23日 米沢市立第五中学校2年生95名 講師 米沢市立病院 看護師</p> <p>◇ 管内中学・高校に「知ってほしい看護職のこと」パンフレット配布</p> <p>◇ 看護師体験セミナー〈オープンホスピタル〉 7月31日・11月19日 公立置賜総合病院 管内高校生80名参加</p>	<p>● 中・高校生世代へ、看護職の魅力を伝える機会の拡大</p> <p>● 中学校等での学習会開催に向け早期調整</p>	<p>□ 医療機関でのオープンホスピタル開催への協力</p> <p>□ 中学校等と早期調整の上、看護師の仕事に触れる学習会の継続</p>
---	-----------------------------	---	---	--

(4) 周産期医療

番号	項目	H28 年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
7	<p>○ 分娩を扱う医療機関と扱わない機関の機能の分担と連携の推進</p>	<p>◇ 置賜地域周産期医療情報ネットワークの運用</p>	<p>● 県の周産期医療体制に基づいた機能分担、連携のさらなる推進。ネットワークシステムの検証。</p>	<p>□ 周産期医療体制整備計画に基づき県と連携した事業実施</p>
8	<p>○ 周産期医療機関との連携による保健指導の充実や低出生体重児の出生を減らす取り組み</p>	<p>◇ 母子保健実務者検討会の開催 11月1日 高島町子育て世代包括支援センターの視察</p> <p>◇ 母子保健推進会議の開催 12月6日 効果的な妊産婦支援のあり方についての情報交換及び検討</p>	<p>● 周産期医療機関と市町等と連携した支援体制の充実</p>	<p>□ 関係機関との情報交換、連携のための母子保健推進会議の開催</p>

9	○ 中高生への性教育の一環としての 適齢期出産の啓発	◇ハイリスク妊娠予防（女性のセルフケア）啓発セミナー開催 8月25日 県立米沢商業高等学校 講話「知って欲しい性と生～産婦人科医師からのメッセージ～」 104名 ◇置賜地域乳幼児と生徒のふれあい体験事業における健康教育（妊娠・出産にかかる講義） 9月30日、10月7日、10月21日 県立南陽高等学校 延253名	●中高生に直接アプローチできる養護教諭等に対する啓発	□女性のセルフケアセミナーの継続開催 □出前講座等を活用した普及啓発 □高等学校の養護教諭等に対し、適齢期妊娠について情報提供
---	-------------------------------	---	----------------------------	---

### （5）小児医療（小児救急含む）

番号	項 目	H28 年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
10	○ 小児救急医療啓発講習会の開催や小児救急電話相談、「こどもの救急」ホームページの普及啓発	◇小児救急医療講習会の開催（年間 6回） 開催時にチラシ配布	●さらなる普及啓発	□講習会の継続

### （6）歯科医療

番号	項 目	H28 年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
11	○ 訪問歯科診療や口腔ケアの啓発	◇出前講座において歯と口の衛生週間の啓発 ◇在宅医療推進事業 山形県歯科医師会での訪問歯科診療推進事業実施	●さらなる啓発	□機会を捉えた啓発の継続 □歯科医師会等での在宅歯科医療関連事業への支援



## (7) 医療連携の推進

番号	項目	H28 年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
12	○ 置賜地域医療情報ネットワークシステム（OK I-net）の参加と利用範囲拡大の促進。医療情報連携の地域住民の啓発	◇各種会議等での参加の呼びかけ、啓発 ◇地域医療連携の普及啓発のためのパンフレット配布	●さらなる促進、啓発	□各種会議等での呼びかけ等の継続

第6次山形県保健医療計画  
「地域編 置賜二次保健医療圏」に係る進捗状況

Ⅱ 地域の特徴的な疾病対策【評価目標】

項 目	現 状	目 標 (上段)				
		実 績 (下段)				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
特定健診受診率 (市町村国保)	33.0% (平成22年度)	36	41	47	53	60
		36.1 (平成24年度)	38.4 (平成25年度)	40.1 (平成26年度)	41.6 (平成27年度)	
認知症疾患医療センターの相談件数 (電話・面接)	376人 (平成23年度)	600	600	600	650	700
		1299	1306	1639	1569 (平成28年12月現在)	

出典

[28年度 山形県国民健康保険団体連合会調べ]

[28年度 置賜保健所調べ]

Ⅱ 地域の特徴的な疾病対策【主要な取組み】

(1) がん・糖尿病対策

番号	項 目	H28年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
13	○ 特定健康診査や定期健康診断の受診促進	◇特定健診受診率(市町村国保) H27年度41.6% ・市町毎に特定健診・保健指導の実施状況や課題について聞き取りを実施 ・健康増進事業評価検討会、地域保健・職域保健連携推進会議において、市町・職域での実施状況や課題について情報交換を実施 12月2日、3月7日	●市町と職域の連携による受診率の向上	□健康増進事業評価検討会、地域保健・職員保健連携推進会議等を活用した対策の検討
14	○ ホームページ等を活用した緩和ケアの普及啓発	◇地域在宅医療推進事業 ・三友堂病院地域緩和ケアサポートセンターにおける情報交換会、講演会、ケアカフェ等実施 ◇訪問看護師対象研修会での緩和ケアに関する知識、情報の提供 ◇在宅医療推進(緩和ケア)についてホームページへの掲載	●在宅での緩和ケアを支える多職種連携の推進と緩和ケアに関する住民への啓発	□三友堂病院緩和ケアサポートセンターの在宅医療推進関係事業への支援

15	<p>○ 糖尿病重症化予防</p>	<p>◇糖尿病重症化予防事業の情報提供、市町、職域における未受診者受診勧奨の取組みなどの事例検討、意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域保健職域保健連携推進会議並びに健康増進事業評価検討会 3月7日</li> </ul> <p>◇エフエムNCV等を活用した普及啓発</p> <p>◇糖尿病の栄養指導実施体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療所で在宅栄養士による栄養指導を実施 従事在宅管理栄養士 5名 実施医療機関 米沢市・白鷹町の診療所6か所</li> </ul> <p>◇糖尿病治療や療養指導に関するホームページによる情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市町と職域の連携による取組みの推進</li> <li>●在宅管理栄養士の人材育成</li> <li>●県栄養士会との連携による、栄養指導の拠点となる地区組織の育成・支援</li> </ul>	<p>□健康増進事業評価検討会等を活用し、市町での実施状況や課題について情報交換を実施</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>糖尿病及び慢性腎臓症重症化予防事業</b> (予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28～H30の3カ年</li> <li>・県、市町村、国保連等の関係機関が連携</li> <li>・未受診者への重点的な受診勧奨、保健指導等で重症化を予防</li> </ul> </div> <p>□在宅管理栄養士による診療所での栄養指導体制の構築の継続</p>
----	-------------------	--	---	---

(2) 精神疾患対策

番号	項目	H28年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
16	<p>○ 認知症患者への包括的支援体制の構築</p>	<p>◇認知症施策に係る市町情報交換会 10月13日 置賜保健所 出席者19名</p> <p>◇関係機関からの相談、連絡への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●認知症患者を地域で支える仕組みづくり</li> </ul>	<p>□各市町の認知症施策推進への広域的調整及び支援</p>
17	<p>○ 地域での認知症の方の見守り支援の強化</p>	<p>◇認知症疾患医療センターの相談件数 4月～12月 1569件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症疾患医療センターを佐藤病院に委託し実施</li> <li>・認知症初期集中支援チームの事業開始 平成25年度：白鷹町 平成26年度：長井市 平成27年度：米沢市、南陽市、高畠町 川西町、飯豊町 平成28年度：小国町</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●認知症患者の増加</li> </ul>	<p>□認知症疾患医療センターの運営委託を継続</p> <p>□市町の取組みを支援</p>

18	○ 困難事例についてのケース検討会の実施	◇ ケース検討会 47回 (H28年2月末現在) 内 保健所開催 5回	● 処遇困難な事例への対応	□ 28年度の取組みを継続
----	----------------------	--	---------------	---------------

## (3) 感染症対策

番号	項 目	H28年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
19	○ 正しい知識の普及等のための研修会等の開催	<p>◇ 集団保育における感染症対策研修会 保育所、幼稚園の保健活動、衛生管理を適切に行うことを目的に実施</p> <p>8月2日(置賜総合支庁) 39名 8月25日(西庁舎) 37名</p> <p>◇ 高齢者福祉施設等における感染対策研修会 高齢者福祉施設の感染症発生防止・感染拡大防止、重症化防止を目的に実施</p> <p>9月7日(西庁舎) 36名 9月29日(置賜総合支庁) 38名 10月13日(置賜総合支庁) 41名</p> <p>◇ 嘔吐物処理啓発用DVD作成</p> <p>◇ 新型インフルエンザ等連絡調整対策会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型インフルエンザ等の感染症の理解促進及び発生時の迅速な対応確保を目的に実施</li> <li>・ 新型インフルエンザの国内発生早期～県内発生・感染拡大期における医療体制確保に向けた対応訓練(机上訓練)を実施</li> </ul> <p>9月15日(えくぼプラザ) 49名</p> <p>◇ 結核対策研修会 結核の早期発見と地域支援にむけた研修会の実施</p> <p>11月2日(置賜総合支庁) 35名</p> <p>◇ 感染症対策加算会議への出席 院内感染対策防止のため、公立置賜総合病院が加算を取得している病院を召集して行う会議にオブザーバーとして出席 3回</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 具体的な演習等を取り入れた、実践に役立つ研修を開催</li> <li>● 関係機関、多職種連携により、感染症の発生及びまん延を防止</li> </ul>	□ 業務に即活用できる研修を継続するとともに、研修不参加施設への働きかけを強化

第6次山形県保健医療計画  
「地域編 置賜二次保健医療圏」に係る進捗状況

Ⅲ 在宅医療の推進【評価目標】

項 目	現 状	目 標 (上段)				
		実 績 (下段)				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
訪問診療を実施している病院・診療所数(歯科を含む)	60施設 (平成24年度) ※( )は歯科内数	64	68	72	76	80
		115(61)	115(61)	113(61)	115(63)	
訪問看護利用者数	957人 (平成23年度)	980	1,020	1,050	1,090	1,130
		1,019 (平成24年度)	961 (平成25年度)	1,187 {平成26年度}	1,148 {平成27年度}	

出典

[28年度 山形県医療機関情報ネットワーク]

[28年度 置賜保健所調べ]

Ⅲ 在宅医療の推進【主要な取組み】

(1) 在宅医療の充実

番号	項 目	H28年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
20	○ 各医師会等の在宅医療の取り組みの支援	◇関係機関からの相談、連絡への対応 ◇地域医療介護総合確保基金による事業実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域在宅医療推進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>山形県歯科医師会</li> <li>山形県作業療法士会</li> <li>三友堂病院地域緩和サポートセンター</li> <li>三友堂リハビリテーションセンター</li> <li>米沢市医師会</li> <li>南陽市東置賜郡医師会</li> <li>長井市西置賜郡医師会</li> </ul> </li> <li>・医療連携ネットワークシステム推進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>置賜地域医療情報ネットワーク協議会 (事務局：公立置賜総合病院)</li> </ul> </li> <li>・地域在宅医療連携推進支援事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>長井市西置賜郡医師会</li> </ul> </li> <li>・在宅医療連携拠点機能強化事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市町毎に在宅医療を支える体制が異なる。</li> <li>●医療圏毎の実情に応じた連携体制、取り組みの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□医療介護総合確保促進法に基づく県計画における在宅医療推進関連事業への支援</li> <li>□各種媒体による在宅医療に係る情報の継続発信</li> </ul>

		長井市西置賜郡医師会 ◇在宅医療・介護連携のための市町支援 市町訪問、ヒアリング、情報交換会等の開催 による広域的な支援・調整		
21	○看取りの理解と推進のための講演 会等の実施について	◇訪問看護師スキルアップ研修会 ◇地域包括ケアに関する啓発パンフレット等による啓発	●看取りへの理解を進めるとともに、在宅（施設）で取り組めるような体制構築の推進	□医療圏毎の実情に応じた看取り体制 推進への支援

## （２）介護との連携

番号	項 目	H28 年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
22	○医師会等とケアマネジャーとの連携強化のための合同研修会開催等の支援	<p>&lt;米沢市医師会&gt; 多職種連携カンファレンス 2月2日 すこやかセンター</p> <p>&lt;長井西置賜郡医師会&gt; 地域在宅医療推進研修会 10月12日 タスパークホテル 多職種連携交流会 2月8日 保健センター</p> <p>&lt;南陽市東置賜郡医師会&gt; 在宅医療研修会 12月15日 沖郷公民館</p> <p>&lt;置賜保健所&gt; ・医療・介護合同会議 1月18日、3月9日 ・置賜地域「入退院調整ルール」キックオフ会議 3月9日 南陽市文化会館</p>	●医療と介護の連携強化	□医師とケアマネジャーの連携促進のための取組みへの支援

23	<p>○ ケアマネジャーの医療に関する知識の向上を図る研修会の開催</p>	<p>◇在宅ケアに関する講演会 「病院から暮らしの場へ～真ん中に本人の意向はありますか～」 3月9日 南陽市文化会館</p>	<p>●在宅療養支援に必要な医療に関する知識の向上</p>	<p>□各医師会等によるケアマネジャー対象研修会等への支援</p>
----	---------------------------------------	--	-------------------------------	-----------------------------------

第6次山形県保健医療計画  
「地域編 置賜二次保健医療圏」に係る進捗状況

IV 保健・医療・福祉の総合的な取組み【評価目標】

項 目	現 状	目 標 (上段)				
		実 績 (下段)				
		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
専門家等による発育・発達相談の開催	4市町 (平成23年度)	4	4	8	8	8
		5	7	7	7	
メタボリックシンドローム該当者割合	18.1% (平成22年度)	17.5	16.7	15.9	15.1	14.2
		15.5	15.4	15.7	15.5	
		(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)	
心のサポーター養成研修受講者数	95人 (平成24年度)	200	300	400	500	600
		1169	1493	871	107 (平成29年2月現在)	

出典

[28年度 置賜保健所調べ]

[28年度 国民健康保険特定健康診査]

[28年度 置賜保健所調べ]

IV 保健・医療・福祉の総合的な取組み 【主な取組み】

(1) 発達障がい児の早期発見、早期療育体制

番号	項 目	H28年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
24	○管内市町の相談実施の支援	◇母子保健推進会議(市町担当者会議)の開催 6月6日 市町における発達障がい児の早期発見、早期支援に向けた取組み等に関する情報交換 ◇7町が専門家等による発育・発達相談を実施	●市町が実施する専門家等による発育・発達相談へのケースの累積	□保健師による相談を継続 担当者会議を開催し、市町間での情報交換や研修を実施すること、また専門家への相談の機会を設けることにより、市町の相談体制を支援
25	○身近な相談支援機能の充実のための研修会等の実施	◇子育て支援スーパーバイズの開催 支援困難ケースを抱える保育士等に対し、心理専門職が個別の助言指導を実施 米沢会場 4回、長井会場 4回 支援ケース数 19施設24ケース 保育士・幼稚園教諭 28名、保健師 延19名 ◇発達障がい支援シリーズ基礎講座の開催 5月26日 30名	●個別支援計画に取り組み保育施設の推進と、支援困難事例への対応力強化のための支援者への指導機会の充実	□発達障害者支援に係る多角的なテーマで研修会の開催を継続するとともに、専門職から支援者に対する個別の助言指導の機会を確保することにより、困難ケースへの対応力の強化を促進。 □療育支援体制の構築に向けて関係機関で検討を行う。



		<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「障害者差別解消法に伴う合理的配慮の提供について」</li> <li>11月16日 63名</li> <li>・テーマ「地域で支える子どもの発達～発達障害の理解と対応～」</li> </ul>		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>障がい福祉課の取組み</p> <p><b>発達障がい者支援体制整備事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がい児の養育経験のある先輩保護者をペアレントメンターとして養成し、同じ親として寄り添いながら相談活動等を行うことにより家庭支援の充実を推進</li> </ul> </div>
26	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スムーズな就学へつなげるための相談支援体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 教育事務所と共催で、発達障がい支援推進体制会議を開催し、関係機関間での連携強化</li> <li>保健・医療福祉・教育機関の30 機関参加</li> <li>第1回 5月11日</li> <li>第2回 2月8日</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 就学時に情報共有や必要な支援が引き継がれるための連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 28年度の取組みを継続</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>障がい福祉課の取組み</p> <p><b>発達障がい者支援体制整備事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がい児の家族や福祉、教育等の関係機関の情報共有ツールとして「やまがたサポートファイル」の普及定着を推進</li> </ul> </div>

**(2) 精神障がい者の地域移行の促進**

番号	項目	H28 年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
27	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多職種による訪問支援、地域資源の調整等による、精神障がい者の地域移行の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 精神保健関係者研修会</li> <li>10月24日 置賜総合支庁 27名</li> <li>・アルコール依存症～動機づけを意識した関わり</li> <li>11月14日 置賜総合支庁 21名</li> <li>・アルコール関連問題を抱える方への関わり</li> <li>◇ 精神保健福祉普及運動週間キャンペーン (10月26日～11月1日)の実施</li> <li>◇ 「精神障がい者を理解しよう」出前講座 4回 206名</li> <li>◇ 患者家族への家庭訪問や面接電話での相談</li> <li>◇ 関係機関からの相談、連絡への支援、対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域における精神障がい者への支援の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 28年度の取組みを継続するとともに、支援にあたる人材の育成等関係機関の取組みを支援</li> </ul>

28	○ ひきこもり者等の支援のためのネットワーク会議の開催	◇ひきこもり等の支援置賜ネットワーク会議 10月18日開催 出席者25名 南陽市中央公民館 ・関係機関連携について意見交換、事例検討	●人材育成等、支援機関の体制強化	□28年度の取組みを継続するとともに、支援に当たる関係者の意見交換の場の設定通して、支援体制と連携を強化。
----	-----------------------------	---	------------------	---

### (3) 難病対策

番号	項 目	H28 年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
29	○ 在宅療養の支援と療養体制の整備及び活用できるサービスの調整	◇申請窓口での相談及び在宅療養中の神経難病患者への訪問指導の実施 ◇ケースカンファレンスの参加、企画(2月末現在) 5事例 6回 ◇難病対策地域協議会の開催 (11月30日) ・就労に関する支援について情報交換 ・災害時の対応に係る検討 ◇在宅人工呼吸器装着者の災害時対応に係る検討会の開催 4事例 4回	●関係機関との連携強化による支援体制の充実	□窓口における相談及び訪問指導、関係機関との連携を強化 □国の動きを注視しながら実施 □難病対策地域協議会における地域課題の共有及び課題解消に向けた取組みの推進
30	○ 難病患者医療福祉相談会の開催	◇難病患者医療福祉相談会 10月4日開催 講演：全身性エリテマトーデスと上手に付き合うために 患者・家族との座談会 参加 患者・家族 18名 関係者 3名  ◇長期療養児講演会 9月1日開催 テーマ：アトピー性皮膚炎とスキンケア 講演、相談会、スキンケアの演習 参加：家族・保健師・保育士等 40名	●難病医療法の新たな施策に則った事業の展開	□ 28年度 of 取組みを継続 □ 国の動きを注視しながら実施

(4) 健康づくりの推進 (生活習慣病などの予防対策)

番号	項 目	H28 年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
31	<p>○ 運動、食事、喫煙等に関する情報の提供</p>	<p>◇出前健康教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各年代に応じた食生活</li> <li>・喫煙と健康</li> <li>・生活習慣病予防について</li> <li>・健康長寿のための食生活</li> </ul> <p>実施回数10回 参加者延べ619人</p> <p>◇エフエムNCVラジオ放送及び置賜総合支庁ニュースを活用した普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「食生活と健康」、「世界禁煙デー・禁煙週間」について 6回</li> </ul> <p>◇食生活改善推進員地区リーダー研修会での減塩をテーマにした調理実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月15日(置賜保健所) 32名</li> <li>6月22日(置賜総合支庁西庁舎) 26名</li> </ul> <p>◇山形県ホームページ「健康情報ステーション」への健康情報の掲載 2回</p>	<p>●望ましい生活習慣の定着を目指し、更なる普及啓発を推進</p>	<p>□28年度の取り組みを継続</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>減塩プロジェクト事業 (I)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米沢栄養大学、県内5つのスーパーマーケットと連携し、適塩弁当を商品化。健康な食事を選択できる環境を整備。</li> </ul> </div>
32	<p>○ 受動喫煙防止の環境づくりの推進</p>	<p>◇受動喫煙防止対策説明会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食品衛生責任者講習会での普及啓発活動10回</li> </ul> <p>◇受動喫煙防止対策推進キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回啓発 34件</li> </ul> <p>◇未成年者の喫煙防止対策(健康教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生対象 1回 19人</li> </ul> <p>◇若者等を対象とした普及啓発(企業や各種団体等での出前健康教室) 6回 207人</p> <p>◇公共施設における受動喫煙防止対策実施状況の把握、好事例紹介</p>	<p>●公共性の高い施設、飲食店等の受動喫煙対策について更なる促進</p> <p>●事業所等の受動喫煙対策の支援</p>	<p>□やまがた受動喫煙防止宣言を踏まえた対策の検討</p> <p>□地域職域連携推進会議等を活用し、事業所等の対策への情報提供</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>「やまがた受動喫煙防止宣言」の取組み</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共性の高い施設における敷地内禁煙又は敷地内禁煙取組み100%</li> <li>・受動喫煙防止宣言の提出数拡大</li> </ul> </div>

33	○ 関係機関と連携した食育の推進	<p>◇健康プログラムを活用した健康づくりの実施 ・モデル1事業所従業員を対象に、栄養・食生活、運動を内容とする健康教室の実施と効果測定</p> <p>◇各市町食生活改善推進協議会が行うライフステージ等に対応した事業の連絡調整、情報交換 ・「生涯骨太クッキング」、「おやこの食育クッキング」、「男性のための料理教室」、「減塩、野菜摂取量増加、認知症予防」、「家庭訪問による1日1g減塩推進」</p> <p>◇給食施設実地指導・支援による食育の普及啓発</p>	●望ましい食生活の定着を目指し継続して推進	<p>□28年度の取り組みを継続</p> <p>減塩プロジェクト事業（Ⅱ） （28年度） ・平成27年度に開発した「健康プログラム」を活用した健康づくりの実施。</p> <p>（29年度） 健康経営推進事業として継続</p>
34	○ 外食料理の栄養成分表示の推進	<p>◇外食料理栄養成分表示の推進 山形県栄養士会米沢地域事業部への情報提供</p> <p>◇外食料理栄養成分表示及びヘルシーメニューの提供 1店舗増                                      64店舗</p>	●外食料理の栄養成分表示・ヘルシーメニューの提供が定着拡大するよう継続して情報提供	□28年度の取り組みを継続

## (4) 健康づくりの推進 (歯科保健対策)

番号	項 目	H28 年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
35	<p>○ 歯科保健の実施状況の把握及びライフステージに応じた訪問歯科診療や口腔ケアの地域住民への啓発推進</p>	<p>◇地域在宅医療推進事業の取組み ・山形県歯科医師会 ・米沢市歯科医師会</p> <p>◇市町の取り組み状況 「市町村歯科保健事業実施状況調査」H27 健康長寿推進課</p> <p>◇妊婦歯科健診 :3 町(川西町、小国町、白鷹町) ◇妊婦歯科教室 :2 町(小国町、白鷹町) ◇乳幼児歯科健診 :全市町 ◇乳幼児歯科教室 :5市町(南陽市、高島町、川西町、小国町、白鷹町) ◇乳幼児フッ素塗布 :全市町で実施 ◇保育園でのフッ素洗口 :3 市町(南陽市、川西町、小国町) ◇歯周疾患検診 :全市町で実施 ◇成人歯科健診 :2 市町(長井市、川西町) ◇成人歯科教育 :3 町(米沢市、南陽市、高島町) ◇成人歯科相談 :2 市町(米沢市、白鷹町) ◇訪問歯科指導 :3 市町(川西町、長井市、飯豊町) ◇訪問歯科健診 :1市(長井市) ◇介護予防事業における口腔ケア教室 :7市町(米沢市、南陽市、長井市、高島町、川西町、白鷹町、飯豊町)</p>	<p>●青壮年期からの歯周疾患進行予防と高齢期の口腔ケアの推進 ●在宅歯科医療の推進</p>	<p>□母子保健担当者の会議・研修会等での情報交換 □地域職域連携推進連絡会議、置賜地域保健事業連絡協議会等の会議を活用した情報交換</p>

## (4) 健康づくりの推進 (高齢者の健康づくり対策)

番号	項目	H28 年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
36	<p>○ 調理になじみのない人でも気軽に取組める低栄養予防献立集等の活用による、健康づくりの啓発</p>	<p>◇「電子レンジ献立集」及び「野菜まるごとレシピ集」の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活改善推進員リーダー対象普及研修会の開催 米沢地区 1 回 長井西置賜地区 1 回</li> <li>・各市町食生活改善推進員による普及活動 6, 344 人 (H29.3.10 現在) / 目標 2,000 人</li> </ul> <p>◇ 職員出前講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低栄養予防啓発、一人暮らし健康長寿者の食と生活習慣に関する調査結果、電子レンジレシピ集などの紹介 4 回 416 人</li> </ul> <p>◇ 高齢期の食の課題検討会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅栄養士、栄養支援に関わる栄養士等対象意見交換、グループワーク 9月 6日 13 人 2月 24日 20 人</li> </ul> <p>◇ 食事支援の課題に関するアンケートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員協会置賜地区支部研修会参加者対象 102 人</li> </ul> <p>◇ 関係団体に対する情報提供及び研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「元気な在宅高齢者健康増進支援事業」の取組みについての情報提供と、今後の健康長寿に向けた高齢期の食支援に係る研修会 2月 24日 44 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「電子レンジ献立集」及び「野菜まるごとレシピ集」の更なる普及</li> <li>● 高齢者の食と生活習慣に関する実態調査結果の普及</li> <li>● 他職種との情報共有や低栄養予防の普及啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 28年度の普及活動を継続</li> <li>□ 市町、米沢栄養大学など関係機関との連携により、実態把握調査や、食の課題検討会などを通して低栄養予防に関する情報の共有を進める、栄養支援のネットワークづくりに取り組む</li> </ul>

## (4) 健康づくりの推進 (こころの健康づくり対策)

番号	項 目	H28 年度取組み及び達成状況	課題と展望	今後の推進方向
37	○ 自殺予防のための心のサポーター養成研修会等の開催	<p>◇心のサポーター養成研修受講者数 〔管内市町・置賜保健所実施分〕 4月から2月 3回 107名 (参考 平成27年度 12回 871名)</p> <p>◇「置賜地域自殺対策推進会議」 12月16日 南陽市中央公民館 39名 ※「置賜地域精神保健福祉連絡会議」と合同</p> <p>◇支援者のメンタルヘルス相談 避難者支援センター“おいで” 4月15日 1名 4月18日 1名 5月13日 2名 7月 1日 2名 11月22日 1名</p> <p>◇巡回健康相談 置賜総合文化センター 5月20日 母4名 子1名 6月10日 母6名 子1名 7月 1日 母7名 子1名</p> <p>◇うつ病家族教室の開催 2回 6月29日 参加者26名 7月27日 参加者22名</p> <p>◇うつ病予防普及啓発のための紙芝居の実施 1回 約11名</p> <p>◇自殺予防週間キャンペーンでの啓発活動 9月10日～16日の実施</p> <p>◇自殺対策強化月間での啓発 3月中の実施</p> <p>◇メンタルヘルス出前講座 8回 247名</p>	<p>●自殺者数は年々減少傾向にあるものの、週に1人が自殺で亡くなっている</p> <p>●自殺未遂者への対応</p> <p>●複数の問題を抱えている人への対応</p>	<p>□自殺対策地域推進会議の開催等により、市町や関係機関での取組みを推進するとともに連携を強化</p> <p>□うつ病家族教室の継続</p> <p>□リーフレット等を活用した自殺予防に関する普及啓発の継続</p> <p>□自殺未遂者相談支援事業の継続</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>地域福祉推進課の取組み</p> <p><b>地域自殺対策強化事業</b></p> <p>・H28年9月に「地域自殺対策推進センター」を県精神保健福祉センターに設置。今後自殺に関する相談や関係機関との連携、人材育成、情報の収集・分析の強化とともに、市町村への支援を推進していく。</p> </div>

		<p>◇自殺未遂者相談支援事業                  山形県内で平成26年12月から実施                  平成28年度1件</p> <p>◇高齢者うつ病講演会                  3月2日開催 置賜総合支庁 25名</p>		
--	--	---	--	--



第 6 次山形県保健医療計画に掲載している  
「医療連携体制を構築する病院の表」

## がんの医療体制を構築する病院

		治療	療養支援
二次保健医療圏	村山	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 山形大学医学部附属病院</li> <li>◎ 県立中央病院</li> <li>○ 山形市立病院済生館</li> <li>山形済生病院</li> <li>篠田総合病院</li> <li>北村山公立病院</li> <li>東北中央病院</li> <li>至誠堂総合病院</li> <li>県立河北病院</li> <li>小白川至誠堂病院</li> <li>寒河江市立病院</li> <li>天童温泉篠田病院</li> <li>天童市民病院</li> <li>朝日町立病院</li> <li>西川町立病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山形徳洲会病院</li> <li>至誠堂総合病院</li> <li>県立河北病院</li> <li>みゆき会病院</li> <li>尾花沢病院</li> <li>小白川至誠堂病院</li> <li>吉岡病院</li> <li>寒河江市立病院</li> <li>天童温泉篠田病院</li> <li>天童市民病院</li> <li>朝日町立病院</li> <li>西川町立病院</li> </ul>
	最上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県立新庄病院</li> <li>新庄徳洲会病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新庄徳洲会病院</li> <li>最上町立最上病院</li> <li>町立真室川病院</li> </ul>
	置賜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公立置賜総合病院</li> <li>米沢市立病院</li> <li>三友堂病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>吉川記念病院</li> <li>舟山病院</li> <li>三友堂病院</li> <li>公立高畠病院</li> <li>公立置賜長井病院</li> <li>川西湖山病院</li> <li>白鷹町立病院</li> <li>小国町立病院</li> <li>公立置賜南陽病院</li> </ul>
	庄内	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本海総合病院</li> <li>□ 鶴岡市立荘内病院</li> <li>庄内余目病院</li> <li>鶴岡協立病院</li> <li>本間病院</li> <li>遊佐病院</li> <li>宮原病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄内余目病院</li> <li>鶴岡協立病院</li> <li>三川病院</li> <li>鶴岡協立リハビリテーション病院</li> <li>本間病院</li> <li>鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院</li> <li>日本海総合病院酒田医療センター</li> <li>遊佐病院</li> <li>酒田市立八幡病院</li> <li>宮原病院</li> </ul>

※ ◎ → 都道府県がん診療連携拠点病院  
○ → 地域がん診療連携拠点病院

□ → がん診療連携拠点病院に準じる病院

以下の注は、5疾病5事業及び在宅医療のすべてに共通しています。

注1 特定機能病院である山形大学医学部附属病院以下、一般病院、精神科単科病院の順番とし、それぞれ病床数の多い順に上から記載しています。

注2 本計画に記載する医療機関は病院を原則とします。診療所については、県医療機関情報ネットワーク（本計画36頁参照）により、名称、所在地、診療科目、診療時間などの情報を提供しています。

## 脳卒中の医療体制を構築する病院

		急性期	回復期	維持期
二次保健医療圏	村山	山形大学医学部附属病院 県立中央病院 山形市立病院済生館 山形済生病院 篠田総合病院 北村山公立病院 山形徳洲会病院	山形大学医学部附属病院 山形済生病院 篠田総合病院 北村山公立病院 国立病院機構山形病院 山形徳洲会病院 東北中央病院 至誠堂総合病院 県立河北病院 みゆき会病院 尾花沢病院 小白川至誠堂病院 吉岡病院 寒河江市立病院 天童温泉篠田病院 天童市民病院 朝日町立病院 西川町立病院	篠田総合病院 北村山公立病院 山形ロイヤル病院 国立病院機構山形病院 山形徳洲会病院 東北中央病院 至誠堂総合病院 県立河北病院 みゆき会病院 尾花沢病院 小白川至誠堂病院 吉岡病院 寒河江市立病院 天童温泉篠田病院 天童市民病院 朝日町立病院 西川町立病院 山形さくら町病院 山形厚生病院
	最上	県立新庄病院 町立真室川病院	県立新庄病院 新庄徳洲会病院 最上町立最上病院 町立真室川病院	県立新庄病院 新庄徳洲会病院 最上町立最上病院 町立真室川病院
	置賜	公立置賜総合病院 米沢市立病院 三友堂病院	国立病院機構米沢病院 吉川記念病院 舟山病院 公立高島病院 三友堂リハビリテーションセンター 公立置賜長井病院 川西湖山病院 小国町立病院 公立置賜南陽病院	国立病院機構米沢病院 吉川記念病院 舟山病院 公立高島病院 三友堂リハビリテーションセンター 公立置賜長井病院 川西湖山病院 白鷹町立病院 小国町立病院 公立置賜南陽病院 佐藤病院
	庄内	日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院 庄内余目病院 鶴岡協立病院 酒田市立八幡病院	庄内余目病院 鶴岡協立病院 三川病院 鶴岡協立リハビリテーション病院 本間病院 鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 日本海総合病院酒田医療センター 酒田市立八幡病院	庄内余目病院 鶴岡協立病院 三川病院 鶴岡協立リハビリテーション病院 本間病院 鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 日本海総合病院酒田医療センター 遊佐病院 酒田市立八幡病院 宮原病院 山容病院 県立こころの医療センター

## 急性心筋梗塞の医療体制を構築する病院

機能	急性期	回復期	再発予防	
二次保健医療圏	村山	山形大学医学部附属病院 山形済生病院 山形済生病院 山形済生病院 山形徳洲会病院 東北中央病院 至誠堂総合病院 県立河北病院 小白川至誠堂病院 吉岡病院 寒河江市立病院 天童温泉篠田病院 天童市民病院 朝日町立病院 西川町立病院	山形済生病院 篠田総合病院 北村山公立病院 国立病院機構山形病院 山形徳洲会病院 東北中央病院 至誠堂総合病院 県立河北病院 小白川至誠堂病院 吉岡病院 寒河江市立病院 天童温泉篠田病院 天童市民病院 朝日町立病院 西川町立病院	篠田総合病院 北村山公立病院 国立病院機構山形病院 至誠堂総合病院 県立河北病院 みゆき会病院 尾花沢病院 小白川至誠堂病院 吉岡病院 寒河江市立病院 天童温泉篠田病院 天童市民病院 朝日町立病院 西川町立病院 山形厚生病院
	最上	県立新庄病院	県立新庄病院 新庄徳洲会病院 最上町立最上病院 町立真室川病院	県立新庄病院 新庄徳洲会病院 最上町立最上病院 町立真室川病院
	置賜	公立置賜総合病院 米沢市立病院 三友堂病院	米沢市立病院 国立病院機構米沢病院 三友堂病院 公立高畠病院 川西湖山病院 白鷹町立病院 小国町立病院 公立置賜南陽病院	国立病院機構米沢病院 舟山病院 公立高畠病院 公立置賜長井病院 川西湖山病院 白鷹町立病院 小国町立病院 公立置賜南陽病院
	庄内	日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院 庄内余目病院 鶴岡協立病院	日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院 庄内余目病院 鶴岡協立病院 三川病院 本間病院 鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院	庄内余目病院 鶴岡協立病院 三川病院 鶴岡協立リハビリテーション病院 本間病院 鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 遊佐病院 酒田市立八幡病院 宮原病院

## 糖尿病の医療体制を構築する病院

		初期・ 安定期治療	専門治療	急性増悪時 治療	慢性合併症 治療	
二次保健医療圏	村山	山形大学医学部附属病院	○*	○*	○	○
		県立中央病院	○*	○*	○	○
		山形市立病院済生館		○*	○	○
		山形済生病院	○*	○*	○	○
		篠田総合病院	○**			○
		北村山公立病院	○**	○**	○	○
		山形ロイヤル病院	○			
		国立病院機構山形病院	○**			
		山形徳洲会病院	○		○	○
		東北中央病院	○**	○**		○
		至誠堂総合病院	○*	○*	○	○
		県立河北病院	○*	○*	○	○
		みゆき会病院	○**	○**	○	○
		尾花沢病院	○**			
		小白川至誠堂病院	○		○	
		吉岡病院	○			
		寒河江市立病院	○*	○*	○	○
		天童温泉篠田病院	○	○	○	○
		天童市民病院	○**	○**	○	
		朝日町立病院	○	○	○	○
	西川町立病院	○	○	○	○	
	矢吹病院	○			○	
	井出眼科病院				○	
	山形厚生病院	○				
	若宮病院	○				
	最上	県立新庄病院	○**	○**	○	○
		新庄徳洲会病院	○		○	
		最上町立最上病院	○		○	○
		町立真室川病院	○		○	
		新庄明和病院	○			
	置賜	公立置賜総合病院	○*	○*	○	○
		米沢市立病院	○**	○**	○	○
		国立病院機構米沢病院	○			
		吉川記念病院	○			
		舟山病院	○	○	○	○
		三友堂病院	○**	○**	○	○
		公立高畠病院	○	○	○	○
		公立置賜長井病院	○**	○**	○	○
		川西湖山病院	○			
		白鷹町立病院	○			
		小国町立病院	○	○	○	
	庄内	公立置賜南陽病院	○**	○**	○	○
		日本海総合病院	○*	○*	○	○
鶴岡市立荘内病院			○*	○	○	
庄内余目病院		○	○	○	○	
鶴岡協立病院		○**	○**	○	○	
三川病院		○				
鶴岡協立リハビリテーション病院		○				
本間病院		○	○	○	○	
遊佐病院		○				
酒田市立八幡病院		○				
宮原病院		○	○	○		

※ \*は糖尿病専門医（（社）日本糖尿病学会認定）が常勤している病院（\*\*は非常勤）

## 精神疾患の医療体制を構築する病院

	治療・回復・ 社会復帰	精神科救急・身体合併症・ 専門医療	認知症	
二次保健医療圏	村山	山形大学医学部附属病院 籾田総合病院 尾花沢病院 上山病院 山形さくら町病院 千歳籾田病院 秋野病院 小原病院 若宮病院 南さがえ病院	山形大学医学部附属病院 県立中央病院 △ 籾田総合病院 尾花沢病院 ○△▲上山病院 ◎ ▲山形さくら町病院 ○ 千歳籾田病院 ○ ▲秋野病院 ○ 小原病院 ◎△▲若宮病院	山形大学医学部附属病院 県立中央病院 □籾田総合病院 ■尾花沢病院 ■天童温泉籾田病院 西川町立病院 ■上山病院 ■山形さくら町病院 ■山形厚生病院 ■千歳籾田病院 ■秋野病院 小原病院 若宮病院 南さがえ病院
	最上	新庄明和病院	○ 新庄明和病院	新庄徳洲会病院 最上町立最上病院 町立真室川病院 新庄明和病院
	置賜	公立置賜総合病院 米沢市立病院 吉川記念病院 公立置賜長井病院 佐藤病院	公立置賜総合病院 米沢市立病院 ○ 吉川記念病院 公立置賜長井病院 ◎△▲佐藤病院	公立置賜総合病院 米沢市立病院 国立病院機構米沢病院 ■吉川記念病院 三友堂病院 公立置賜長井病院 □佐藤病院
	庄内	日本海総合病院 三川病院 県立こころの医療センター 山容病院 酒田東病院	日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院 三川病院 ◎△ 県立こころの医療センター ○▲ 山容病院 酒田東病院	□日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院 鶴岡協立病院 ■三川病院 鶴岡協立リハビリテーション病院 鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 遊佐病院 酒田市立八幡病院 宮原病院 県立こころの医療センター 山容病院 酒田東病院

- ※ ◎ → 精神科救急入院料認可施設（スーパー救急）、精神科救急医療施設  
○ → 精神科救急医療施設  
△ → 児童・思春期外来を有する医療機関  
▲ → アルコール外来を有する医療機関  
□ → 認知症疾患医療センター  
■ → 認知症治療病棟を有する医療機関

## 小児医療の体制を構築する病院

		一般小児医療		地域小児医療センター		小児中核病院	
		一般小児医療	初期小児救急	小児専門医療	入院小児救急	高度小児専門医療	小児救命救急医療
二次保健医療圏	村山	篠田総合病院 北村山公立病院 県立河北病院 みゆき会病院 天童市民病院 西川町立病院	北村山公立病院 県立河北病院 天童市民病院	県立中央病院 山形市立病院 済生館 山形済生病院 天童市民病院 県立こども医療療育センター	県立中央病院 山形市立病院 済生館	山形大学医学部附属病院	
	最上	県立新庄病院 最上町立最上病院	県立新庄病院	県立新庄病院	県立新庄病院		
	置賜	公立置賜総合病院 米沢市立病院 国立病院機構米沢病院 吉川記念病院 舟山病院 公立高島病院 白鷹町立病院 小国町立病院	公立置賜総合病院 米沢市立病院 公立高島病院	公立置賜総合病院 米沢市立病院 舟山病院 公立高島病院	公立置賜総合病院 米沢市立病院		
	庄内	日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院 鶴岡協立病院 遊佐病院 三井病院	日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院 三井病院	日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院	日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院		



## 周産期医療の体制を構築する病院

		一次周産期医療	二次周産期医療 (各地区拠点病院)	三次周産期医療 (高度周産期医療機関)	療養・療育支援
二次保健医療圏	村山	山形大学医学部附属病院 県立中央病院 山形市立病院済生館 山形済生病院 北村山公立病院 天童市民病院 横山病院	山形大学医学部附属病院 県立中央病院 山形市立病院済生館 山形済生病院	山形大学医学部附属病院（地域周産期母子医療センター）  県立中央病院（総合周産期母子医療センター）  山形済生病院（地域周産期母子医療センター）	国立病院機構山形病院 県立こども医療療育センター
	最上	県立新庄病院	県立新庄病院		
	置賜	公立置賜総合病院 米沢市立病院	公立置賜総合病院 米沢市立病院		米沢市立病院 国立病院機構米沢病院
	庄内	日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院 鶴岡協立病院 三井病院	日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院	鶴岡市立荘内病院（地域周産期母子医療センター）	日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院 鶴岡協立病院 三井病院  （県立こども医療療育センター庄内支所）

## 救急医療の体制を構築する病院

機能	救命医療	入院救急医療	初期救急医療	救命期後医療	
二次保健医療圏	村山	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 山形大学医学部附属病院</li> <li>○ 県立救命救急センター</li> <li>山形市立病院済生館</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 山形大学医学部附属病院</li> <li>県立中央病院</li> <li>山形市立病院済生館</li> <li>山形済生病院</li> <li>篠田総合病院</li> <li>北村山公立病院</li> <li>山形徳洲会病院</li> <li>東北中央病院</li> <li>至誠堂総合病院</li> <li>県立河北病院</li> <li>みゆき会病院</li> <li>小白川至誠堂病院</li> <li>吉岡病院</li> <li>寒河江市立病院</li> <li>天童温泉篠田病院</li> <li>天童市民病院</li> <li>朝日町立病院</li> <li>西川町立病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 山形大学医学部附属病院</li> <li>山形済生病院</li> <li>篠田総合病院</li> <li>北村山公立病院</li> <li>山形徳洲会病院</li> <li>東北中央病院</li> <li>至誠堂総合病院</li> <li>県立河北病院</li> <li>みゆき会病院</li> <li>小白川至誠堂病院</li> <li>吉岡病院</li> <li>寒河江市立病院</li> <li>天童温泉篠田病院</li> <li>天童市民病院</li> <li>朝日町立病院</li> <li>西川町立病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山形済生病院</li> <li>篠田総合病院</li> <li>北村山公立病院</li> <li>国立病院機構山形病院</li> <li>山形徳洲会病院</li> <li>東北中央病院</li> <li>至誠堂総合病院</li> <li>県立河北病院</li> <li>みゆき会病院</li> <li>尾花沢病院</li> <li>小白川至誠堂病院</li> <li>吉岡病院</li> <li>寒河江市立病院</li> <li>天童温泉篠田病院</li> <li>天童市民病院</li> <li>朝日町立病院</li> <li>西川町立病院</li> </ul>
	最上	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立新庄病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立新庄病院</li> <li>新庄徳洲会病院</li> <li>最上町立最上病院</li> <li>町立真室川病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立新庄病院</li> <li>新庄徳洲会病院</li> <li>最上町立最上病院</li> <li>町立真室川病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県立新庄病院</li> <li>新庄徳洲会病院</li> <li>町立真室川病院</li> </ul>
	置賜	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公立置賜総合病院救命救急センター</li> <li>米沢市立病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公立置賜総合病院</li> <li>米沢市立病院</li> <li>舟山病院</li> <li>三友堂病院</li> <li>公立高島病院</li> <li>白鷹町立病院</li> <li>小国町立病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公立置賜総合病院</li> <li>米沢市立病院</li> <li>舟山病院</li> <li>三友堂病院</li> <li>公立高島病院</li> <li>白鷹町立病院</li> <li>小国町立病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立病院機構米沢病院</li> <li>吉川記念病院</li> <li>舟山病院</li> <li>公立高島病院</li> <li>川西湖山病院</li> <li>白鷹町立病院</li> <li>小国町立病院</li> <li>公立置賜南陽病院</li> </ul>
庄内	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本海総合病院救命救急センター</li> <li>鶴岡市立荘内病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本海総合病院</li> <li>鶴岡市立荘内病院</li> <li>庄内余目病院</li> <li>鶴岡協立病院</li> <li>本間病院</li> <li>酒田市立八幡病院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本海総合病院</li> <li>鶴岡市立荘内病院</li> <li>庄内余目病院</li> <li>鶴岡協立病院</li> <li>本間病院</li> <li>酒田市立八幡病院</li> <li>三井病院(産科のみ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄内余目病院</li> <li>鶴岡協立病院</li> <li>三川病院</li> <li>鶴岡協立リハビリテーション病院</li> <li>本間病院</li> <li>鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院</li> <li>日本海総合病院酒田医療センター</li> <li>遊佐病院</li> <li>酒田市立八幡病院</li> <li>宮原病院</li> </ul>	

※ ○ → 三次救急医療を担う施設

### 災害時の医療体制を構築する病院

	災害拠点病院	災害急性期の応援派遣	災害中長期の応援派遣
二次保健医療圏	村山 県立中央病院 山形市立病院済生館 山形済生病院	山形大学医学部附属病院 県立中央病院 山形市立病院済生館 山形済生病院 北村山公立病院 山形徳洲会病院 県立河北病院 天童市民病院	山形大学医学部附属病院 山形済生病院 篠田総合病院 北村山公立病院 国立病院機構山形病院 山形徳洲会病院 東北中央病院 至誠堂総合病院 県立河北病院 みゆき会病院 尾花沢病院 小白川至誠堂病院 吉岡病院 寒河江市立病院 天童市民病院 上山病院 山形さくら町病院 山形厚生病院 千歳篠田病院 秋野病院 小原病院 若宮病院
	最上 県立新庄病院	県立新庄病院	県立新庄病院 新庄徳洲会病院 最上町立最上病院
	置賜 公立置賜総合病院	公立置賜総合病院	公立置賜総合病院 米沢市立病院 吉川記念病院 舟山病院 三友堂病院 公立高畠病院 小国町立病院 佐藤病院
	庄内 日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院	日本海総合病院 鶴岡市立荘内病院 庄内余目病院	庄内余目病院 鶴岡協立病院 本間病院 遊佐病院 酒田市立八幡病院 県立こころの医療センター 酒田東病院

## へき地の医療体制を構築する病院等

		保健指導	へき地診療	へき地診療の支援医療
二次保健医療圏	村山		朝日町立病院 西川町立病院 (上山市山元診療所) (西川町立岩根沢診療所) (西川町立小山診療所) (西川町立大井沢診療所) (朝日町立北部診療所)	山形大学医学部附属病院 ○ 県立中央病院 みゆき会病院
	最上	最上町立最上病院 町立真室川病院	最上町立最上病院 町立真室川病院 (町立金山診療所) (真室川町立釜淵診療所) (真室川町立及位診療所) (大蔵村診療所) (戸沢村中央診療所)	○ 県立新庄病院 新庄徳洲会病院 最上町立最上病院 町立真室川病院
	置賜	吉川記念病院 白鷹町立病院 小国町立病院	川西湖山病院 白鷹町立病院 小国町立病院 (南陽市国民健康保険小滝診療所) (飯豊町国民健康保険診療所附属 中津川診療所)	○ 公立置賜総合病院
	庄内	(酒田市飛島診療所)	(酒田市飛島診療所) (酒田市国民健康保険松山 診療所) (酒田市国民健康保険地見興屋 診療所) (酒田市立升田診療所) (酒田市立青沢診療所) (鶴岡市国民健康保険上田沢診療所) (鶴岡市国民健康保険大網診療所)	○ 日本海総合病院  酒田市立八幡病院

※ ○ → へき地医療拠点病院

( ) → へき地診療所

## 在宅医療の体制を構築する病院

		退院支援	日常の療養支援	急変時の対応	看取り
二次保健医療圏	村山	山形大学医学部附属病院	篠田総合病院	山形大学医学部附属病院	国立病院機構山形病院
		県立中央病院	国立病院機構山形病院	県立中央病院	至誠堂総合病院
		山形市立病院済生館	山形徳洲会病院	山形市立病院済生館	みゆき会病院
		山形済生病院	みゆき会病院	山形済生病院	吉岡病院
篠田総合病院		吉岡病院	篠田総合病院	天童温泉篠田病院	
国立病院機構山形病院		天童温泉篠田病院	東北中央病院	天童市民病院	
山形徳洲会病院		天童市民病院	至誠堂総合病院	山形さくら町病院	
東北中央病院		上山病院	みゆき会病院		
至誠堂総合病院		山形さくら町病院	小白川至誠堂病院		
みゆき会病院		千歳篠田病院	吉岡病院		
小白川至誠堂病院		秋野病院	天童温泉篠田病院		
天童温泉篠田病院		若宮病院	天童市民病院		
天童市民病院					
上山病院					
山形さくら町病院					
千歳篠田病院					
秋野病院					
若宮病院					
	西村山	県立河北病院	県立河北病院	県立河北病院	県立河北病院
		寒河江市立病院	寒河江市立病院	寒河江市立病院	寒河江市立病院
		朝日町立病院	朝日町立病院	朝日町立病院	朝日町立病院
		西川町立病院	西川町立病院	西川町立病院	西川町立病院
		小原病院	小原病院		
	南さがえ病院	南さがえ病院			
	北村山	北村山公立病院	北村山公立病院	北村山公立病院	北村山公立病院
		山形ロイヤル病院	尾花沢病院	尾花沢病院	山形ロイヤル病院
		尾花沢病院			尾花沢病院
	最上	県立新庄病院	県立新庄病院	県立新庄病院	県立新庄病院
		新庄徳洲会病院	新庄徳洲会病院	新庄徳洲会病院	新庄徳洲会病院
		最上町立最上病院	最上町立最上病院	最上町立最上病院	最上町立最上病院
		町立真室川病院	町立真室川病院	町立真室川病院	町立真室川病院
		新庄明和病院	新庄明和病院		

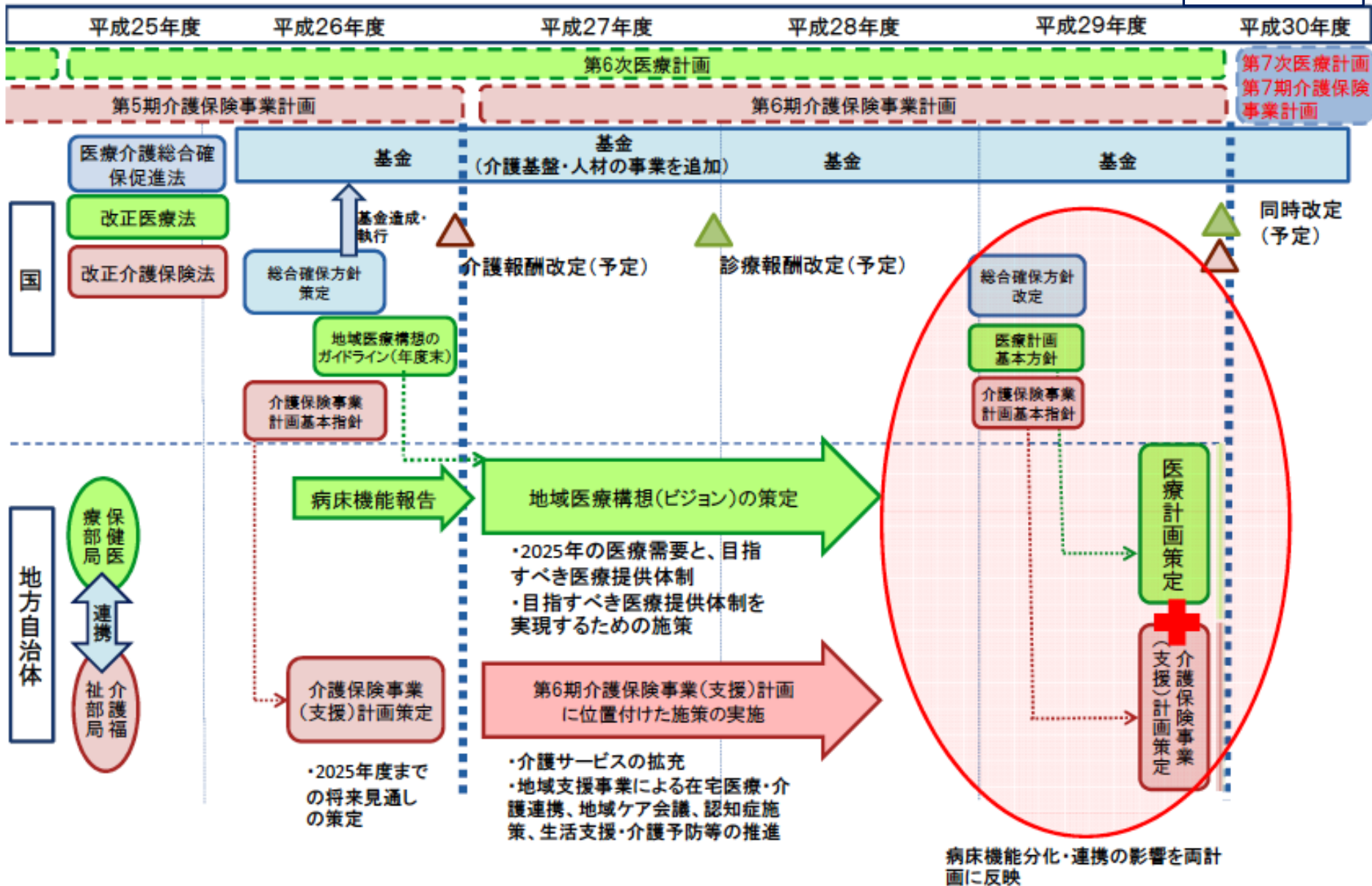
		退院支援	日常の療養支援	急変時の対応	看取り	
二次保健医療圏	置賜	米沢	米沢市立病院 国立病院機構米沢病院 舟山病院 三友堂病院 三友堂リハビリテーションセンター	米沢市立病院 国立病院機構米沢病院 舟山病院 三友堂病院	米沢市立病院 舟山病院 三友堂病院	米沢市立病院 国立病院機構米沢病院 舟山病院 三友堂病院
		長井西置賜	吉川記念病院 公立置賜長井病院 白鷹町立病院 小国町立病院	吉川記念病院 公立置賜長井病院 白鷹町立病院 小国町立病院	吉川記念病院 公立置賜長井病院 白鷹町立病院 小国町立病院	吉川記念病院 白鷹町立病院 小国町立病院
		南陽東置賜	公立置賜総合病院 公立高阜病院 川西湖山病院 公立置賜南陽病院	公立置賜総合病院 公立高阜病院 川西湖山病院 公立置賜南陽病院	公立置賜総合病院 公立高阜病院 川西湖山病院 公立置賜南陽病院	川西湖山病院 公立置賜南陽病院
	庄内	北庄内	日本海総合病院 庄内余目病院 本間病院 日本海総合病院酒田医療センター 遊佐病院 酒田市立八幡病院 山容病院 酒田東病院	日本海総合病院 庄内余目病院 本間病院 日本海総合病院酒田医療センター 遊佐病院 酒田市立八幡病院 酒田東病院	日本海総合病院 庄内余目病院 本間病院 遊佐病院 酒田市立八幡病院	日本海総合病院 庄内余目病院 本間病院 日本海総合病院酒田医療センター 遊佐病院 酒田市立八幡病院
		南庄内	鶴岡市立荘内病院 鶴岡協立病院 三川病院 鶴岡協立リハビリテーション病院 鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 宮原病院 県立こころの医療センター	鶴岡市立荘内病院 鶴岡協立病院 鶴岡協立リハビリテーション病院 鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院 宮原病院	鶴岡市立荘内病院 鶴岡協立病院 三川病院 宮原病院	鶴岡市立荘内病院 鶴岡協立病院 三川病院 宮原病院

## 置賜地域医療構想調整会議等スケジュール(予定)

開催時期		地域保健医療協議会(地域医療構想調整会議)			
		(本体会議)	病床機能調整ワーキング	在宅医療専門部会	
H28年度	12月	上旬			
		中旬			
		下旬	H28第1回開催(12/26)		
	1月	上旬			
		中旬			
		下旬			
	2月	上旬			
		中旬			
		下旬			H28第1回開催(2/28)
3月	上旬	H28第2回開催(3/10)	H28第1回開催(3/2)		
	中旬				
	下旬				
H29年度	4月				
	5月	山形県保健医療推進協議会 へ報告(6月開催予定)			
	6月		・全病院を招集しての開催を基本 ・必要に応じて、関係医療機関 によるワーキングを開催 ・年に1、2回開催  《内容》 ・各病院の検討状況報告 ・情報交換、情報提供 外	3ブロックごとに在宅医 療ブロック会議の開催 (地域ごとの現状や課 題、今後の推進方策の 具体化に向けた協議)	
	7月				
	8月				
	9月				
	10月				
	11月				
	12月				
	1月				H29第1回在宅医療専 門部会(合同)の開催
	2月				
3月	H29第1回開催				
H30年度					

# 医療・介護提供体制の見直しに係る今後のスケジュール

資料7-②





## 平成 28 年度第 1 回置賜地域保健医療協議会 議事概要

- ・日時：平成 28 年 12 月 26 日（月）18:30～20:00
- ・場所：置賜保健所 2階 講堂

### 1 開会

### 2 挨拶（置賜総合支庁 加藤保健福祉環境部長）

### 3 会長及び副会長の選任について

委員の互選により、会長に小林委員、副会長に粕川委員が選任された。

### 4 報告

#### （1）地域医療構想の実現に向けて

事務局から資料 1 により報告。

#### （2）医療提供体制の現状と将来目指すべき姿について

事務局から資料 2 により報告。

### 5 協議

#### （1）地域医療構想を実現する上での課題と対応の方向について

##### ①必要病床数の確保に向けた病床機能の分化・連携の進め方

事務局から資料 3 により説明。

##### ○主な意見・質疑等

- ・資料 3 の病床数は県全体の数字か。二次医療圏ではないのか。  
（→事務局から、県全体の数字である旨を説明。）

##### ②具体的病院の改築等に係る病床機能の分化・連携のあり方

事務局から資料 4 により説明。

##### ○主な意見・質疑等

- ・病床機能報告資料が、平成 27 年 7 月 1 日現在として資料が作られている。平成 28 年度の資料は既にまとまっているのか。  
（→事務局から、平成 28 年度分については現在集計中であり、3 月くらいになると数字が出せる旨を説明。）

#### （2）置賜広域病院組合医療機能のあり方と公立置賜南陽病院改築計画（案）について

関係委員から資料 5 により説明。

##### ○主な意見・質疑等

- ・資料5②を見てみると、「サテライトは回復期、地域包括ケア病床として運営」との説明があったことと、「一般病床及び地域包括ケア病床」という記述が矛盾するのではないかと。

(→説明した委員から、一般病床の中に回復期病床も入る旨を説明。)

- ・100床程度という病床数の検討について、今後どのように見通しているか。また、資料5②の2ページに南陽病院の病床利用率が81%とあるが、50床の設定について今後どのように病床利用率を上げるのか等、今後の見通しはどうか。

(→説明した委員から、100床は最低数年以内に減らさなければならないだろうと考えていること、現在26床が休床中なので、実質130床近くの減少になること、今後は段階的に病棟の整理をしていきたいことを説明。また、南陽病院の50床については、現在40床程度しか使われていないが、今後、回復期の患者については置賜総合病院とより積極的に連携できるようにしていくこと、来年4月から地方公営企業の全部適用により企業長が全体の管理を強力に推し進めることで分担をよりはっきりさせていくことを説明。)

- ・説明の内容に賛成である。置賜総合病院では、100床よりもっと減らせという時代が必ず来る。20～30年後には人口動態がまるで変わってくることから、100床を目途、50床を目途は理にかなっていると思う。急性期は、大規模病院は要らなくなり、その受け皿の病院が必ず必要になる。今後は、人口動態、出生率とか全体を考えないと、病床いくついくつというのは難しいと思う。
- ・平成26年に医師会の意見をまとめるためアンケートを実施した結果、南陽病院については、「在宅医療を推進する上でもぜひ必要だ」というのが医師会全員の意見だった。様々な意見が出たが、「病院と診療所の連携は不可欠で、今後とも更に連携を強化して行ってほしい」とまとめられるものだった。

(事務局から)

- ・この協議会の下に病床機能調整ワーキングを設置する。今回は置賜広域病院組合の話が主だったが、米沢の急性期病院でも来年1月に検討会議を開催するという話があるので、それぞれどの程度話が進んでいるのかを、できるだけ来年早々にワーキングを共有して確認したい。今回、貴重な話を頂戴したが、そういう話をもう一段進める場を設けて、3月に開催する第2回の協議会で皆様にご報告したい。

### (3) 在宅医療の推進に係る取組みについて

事務局から資料6により説明。

#### ○主な意見・質疑等

- ・資料6の米沢地区の部分で、米沢市薬剤師会も何か取り組んでいるが抜けているのでは。

(→事務局から、補助事業を活用して実施されている事業を中心に作成している旨を説明したところ、今後は補助の有無に関わらず全体が見える資料を作成してほしいとのこと。)

- ・米沢市薬剤師会でも、地域包括ケアの勉強会を行っており、連携等を深めている。米沢市の地域ケア会議の異業種として薬剤師会も入っており、地域ケア会議はこの1月から始まる予定。在宅における薬剤管理についても、調剤薬局の薬剤師が在宅に入り、使用量を数えた上で主治医に伝え、残った分を処方箋に足していただくような取組みも始めている。

#### (4) 「病床機能調整ワーキング」、「在宅医療専門部会」の設置について

事務局から資料7、資料8により説明。

##### ○主な意見・質疑等

- ・在宅医療の件で、米沢市立病院でも訪問看護ステーションが10月から開始しているので、そうした資料を出して頂ければ全体像がつかめるのではないかと。
- ・長井市西置賜郡医師会で県の補助事業（地域在宅医療連携推進支援事業）を受けて在宅医療の推進に向けて在宅拠点を医師会内に設置し、4月からスタートする。今は小国病院とか白鷹病院が訪問看護を頑張っているが、これから5年、10年先どうなるか分からないということで、この拠点は長井だけでなく西置賜全体を見据えた訪問看護ステーションに向けて、あるいは実施主体としての事業団の設置に向けての第一歩と考えている。
- ・病院の退院支援に関しても、病院の中だけでなく地域で研修を受けて、医療と介護の連携を進めるということで、看護師会の中でも勉強会を進めたり、地域の方を招いて講習会をしたりして取り組んでいる。支部としても県看護協会の動きに合わせて、同じような取組みをしているところを参考にして、病院と施設の看護師と一緒に勉強会を進めようとしている。
- ・高畠地区の取組みだが、介護の事例の検討会を、行政が率先して指導して行っている。「おきカンファ」という新しい取組みがあり、医師はテレビ会議で参加しワンポイントのアドバイスをするとか、将来に繋がる動きではないかと期待している。川西、南陽等の他の市町村も、いい意味で真似して欲しい。これから活性化されていけばよろしいかと思う。
- ・病床機能調整ワーキンググループでは、資料2の2013年必要病床数をたたき台にするのか。  
(→事務局から、資料2の一番下の右の必要病床数、2025年の必要病床数を1つの目標にしながら調整させていただく旨を回答。)

## 6 その他

- ・地域医療連携推進法人について、国の関係資料の公表や説明会の開催などの予定はどうなっているのか。  
(→事務局から、1月11日に自治体向けの説明会を開催すると厚生労働省から連絡があったこと、それを踏まえて情報提供できる部分はしていく旨を回答。)

## 7 閉会

## 管内自治体の死亡の状況について

参考資料2

(単位:人)

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H17-27計
<b>米沢市</b>												
悪性新生物	284	271	273	281	279	288	302	274	<b>308</b>	279	282	3,121
心疾患	179	149	145	159	165	141	173	182	<b>194</b>	169	160	1,816
脳血管疾患	113	125	102	121	131	140	<b>148</b>	143	127	121	117	1,388
肺炎	100	86	74	103	104	83	105	87	106	89	<b>108</b>	1,045
総死亡数	1,004	948	903	1,011	987	1,011	1,086	1,080	<b>1,112</b>	1,028	1,073	11,243
<b>長井市</b>												
悪性新生物	99	<b>114</b>	99	110	91	108	100	<b>114</b>	96	110	94	1,135
心疾患	57	65	55	57	64	55	73	<b>79</b>	72	59	66	702
脳血管疾患	59	57	55	41	51	71	70	57	<b>73</b>	68	72	674
肺炎	23	23	22	29	25	30	38	37	<b>39</b>	28	29	323
総死亡数	377	394	363	363	384	407	415	<b>450</b>	433	440	411	4,437
<b>南陽市</b>												
悪性新生物	<b>140</b>	114	115	110	106	124	129	125	99	132	102	1,296
心疾患	67	52	69	47	58	60	68	62	75	80	<b>86</b>	724
脳血管疾患	84	79	81	64	62	51	<b>100</b>	78	57	66	49	771
肺炎	29	37	<b>38</b>	26	31	<b>38</b>	26	13	22	29	21	310
総死亡数	457	407	433	391	382	425	484	443	404	<b>500</b>	452	4,778
<b>高畠町</b>												
悪性新生物	81	88	77	83	89	85	89	83	88	76	<b>96</b>	935
心疾患	39	42	50	53	61	64	56	<b>66</b>	60	59	42	592
脳血管疾患	41	48	51	53	58	47	56	50	50	51	<b>62</b>	567
肺炎	31	26	31	<b>33</b>	<b>33</b>	31	32	20	21	25	22	305
総死亡数	277	291	307	312	340	310	324	334	<b>356</b>	328	331	3,510
<b>川西町</b>												
悪性新生物	<b>76</b>	61	67	62	69	65	73	75	<b>76</b>	57	72	753
心疾患	46	45	36	31	40	37	37	37	43	44	<b>48</b>	444
脳血管疾患	39	31	46	43	32	29	<b>50</b>	45	46	38	29	428
肺炎	13	<b>23</b>	20	21	15	21	22	12	19	21	9	196
総死亡数	247	231	247	248	234	253	285	274	<b>297</b>	278	257	2,851
<b>小国町</b>												
悪性新生物	31	34	27	27	<b>44</b>	43	37	33	32	30	33	371
心疾患	20	20	13	25	17	24	<b>29</b>	20	19	27	21	235
脳血管疾患	14	14	<b>19</b>	9	8	12	14	13	8	10	11	132
肺炎	13	<b>22</b>	17	13	10	13	17	12	17	11	13	158
総死亡数	118	138	123	132	145	154	152	141	144	<b>155</b>	152	1,554
<b>白鷹町</b>												
悪性新生物	51	53	51	54	<b>58</b>	57	48	<b>58</b>	55	48	54	587
心疾患	34	36	33	27	34	25	38	27	<b>40</b>	26	26	346
脳血管疾患	29	51	38	<b>53</b>	35	36	37	33	20	37	29	398
肺炎	21	23	28	25	25	24	26	28	<b>37</b>	27	25	289
総死亡数	198	235	220	237	230	214	<b>254</b>	237	233	229	227	2,514
<b>飯豊町</b>												
悪性新生物	42	36	28	37	26	28	38	26	<b>46</b>	36	19	362
心疾患	17	16	20	<b>31</b>	26	28	15	24	21	24	23	245
脳血管疾患	25	16	26	15	18	17	<b>28</b>	15	14	17	18	209
肺炎	4	7	11	11	4	12	9	9	8	10	<b>17</b>	102
総死亡数	126	107	121	136	110	131	138	107	<b>140</b>	138	128	1,382
<b>置賜計</b>												
悪性新生物	804	771	737	764	762	798	<b>816</b>	788	800	768	752	8,560
心疾患	459	425	421	430	465	434	489	497	<b>524</b>	488	472	5,104
脳血管疾患	404	421	418	399	395	403	<b>503</b>	434	395	408	387	4,567
肺炎	234	247	241	261	247	252	<b>275</b>	218	269	240	244	2,728
総死亡数	2,804	2,751	2,717	2,830	2,812	2,905	<b>3,138</b>	3,066	3,119	3,096	3,031	32,269

資料:人口動態統計